

適用規格																							
定 格	使用温度範囲	-35℃～ + 85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ + 60℃ (注2)																			
	電 圧	AC 50 V	適合コネクタ	DF17#(1.0H) -*DP-0.5V(57)																			
	電 流	0.3 A																					
性 能																							
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT																		
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○																		
	表示	目視にて確認する。		○	○																		
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	60 mΩ以下	○	—																		
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—																		
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—																		
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>極数</th> <th>挿入力 (N)以下</th> <th>抜去力 (N)以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>26.0</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>30.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>60.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>70.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>80.0</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>	極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上	26	26.0	2.6	30	30.0	3.0	60	60.0	6.0	70	70.0	7.0	80	80.0	8.0	○	—
			極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上																		
			26	26.0	2.6																		
			30	30.0	3.0																		
			60	60.0	6.0																		
			70	70.0	7.0																		
80	80.0	8.0																					
繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																			
耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																			
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																			
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②絶縁抵抗：250 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																		
	温度サイクル	温度 -55 → 5～35 → 85 → 5～35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																		
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150～180℃ 90～120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田 (リペア) の場合 】 半田ごてで 350℃、3秒の条件にて半田付け を行う。但し、端子に力を加えないこと。	外觀の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—																		
	半田付け性	半田温度 245 °C、浸せき時間 3 s 間 で試験実施する。	半田浸せき面の 95%以上が新しい半田 で濡れていること。	○	—																		
	二酸化硫黄	濃度10ppm, 96時間放置する。 (試験規格: JEIDA-39)	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																		
塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	①接触抵抗：60 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																			
備考																							
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。																							
(注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用 されます。エンボス梱包仕様時の保存温度範囲には-10～+50℃となります。																							
試験規格の記載のない試験方法は J I S C 5 4 0 2 を適用している。																							
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日																		
	1	DIS-H-00003088	SH. HOSODA	TS. MIYAZAKI	17.09.29																		
			承認	MO. NAKAMURA	05.03.25																		
			検 図	TS. MIYAZAKI	05.03.25																		
			担 当	YH. MICHIDA	05.03.15																		
			製 図	YH. MICHIDA	05.03.15																		
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-162761-06																			
	製品規格表		製品名	DF17(3.0H) -*DS-0.5V(57)																			
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL683	 1/1																		